



神奈川県

県土整備局 河川下水道部 下水道課

神奈川県流域下水道事業経営ビジョン

(令和4年度経営状況)

令和6年1月

1 令和4年度決算

(1) 業務実績

処理人口 (単位：人)

区分	令和4年度	令和3年度	増減
相模川流域	1,814,700	1,808,600	6,100
酒匂川流域	269,600	270,700	△ 1,100
全体	2,084,300	2,079,300	5,000

流入下水量 (単位：m³)

区分	令和4年度	令和3年度	増減
相模川流域	229,996,360	237,677,710	△ 7,681,350
酒匂川流域	43,558,270	45,077,150	△ 1,518,880
全体	273,554,630	282,754,860	△ 9,200,230

流域下水道事業は、相模川流域では9市3町、酒匂川流域では3市7町で事業を実施しており、令和4年度の処理人口は208万4千人、流入下水量は2億7,355万m³となっています。

(2) 経営状況

令和4年度決算額は次のとおりです。

本県の流域下水道事業では、県及び市町の協議等により、市町維持管理負担金等を、費用に応じて収益としているため、損益は生じません。

今後、施設の老朽化に伴う改築更新等により、事業費の増大が見込まれる中、改築更新の実施時期を調整することによる経費の平準化や財源の確保に努め、安定した経営に取り組んでいきます。

①収益的収支

(単位：百万円)

科目等	令和4年度決算額(A)			令和3年度決算額(B)			増減(A-B)		
	全体	相模川流域	酒匂川流域	全体	相模川流域	酒匂川流域	全体	相模川流域	酒匂川流域
収益的収入 a	24,840	19,495	5,344	24,433	19,272	5,160	407	223	184
営業収益	12,041	9,287	2,753	10,494	7,948	2,545	1,547	1,339	208
市町維持管理負担金等	12,041	9,287	2,753	10,494	7,948	2,545	1,547	1,339	208
営業外収益等	12,798	10,207	2,590	13,938	11,323	2,615	△ 1,140	△ 1,116	△ 25
長期前受金戻入	10,314	8,257	2,057	11,139	9,060	2,078	△ 825	△ 803	△ 21
一般会計繰入金	2,331	1,829	501	2,786	2,254	532	△ 455	△ 425	△ 31
その他	152	120	31	13	8	4	139	112	27
収益的支出 b	24,670	19,361	5,309	24,412	19,255	5,156	258	106	153
営業費用	24,297	19,077	5,220	23,951	18,929	5,022	346	148	198
維持管理費	12,042	9,291	2,751	10,482	7,966	2,515	1,560	1,325	236
減価償却費等	12,254	9,786	2,468	13,468	10,962	2,506	△ 1,214	△ 1,176	△ 38
営業外費用	373	284	88	461	326	134	△ 88	△ 42	△ 46
特別損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消費税資本的収支調整額 c	169	133	35	20	16	4	149	117	31
当年度純利益又は純損失 a-b-c	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注) 表の数字は、端数切捨のため、合計額には一致しない箇所があります(次頁以降同様)。

＜収益的収入＞

営業収益は、12,041百万円で前年度に比べ、1,547百万円増加しています。これは電気料金の上昇等による市町維持管理負担金等1,547百万円の増があったことによるものです。

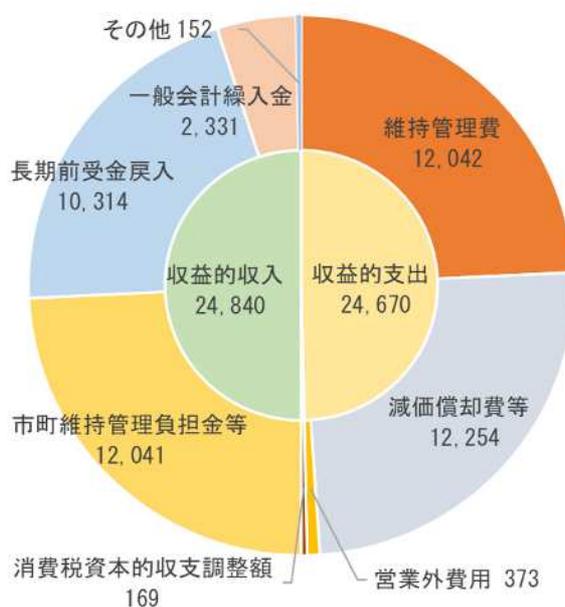
営業外収益等は、12,798百万円で前年度に比べ、1,140百万円減少しています。これは長期前受金戻入825百万円、一般会計繰入金455百万円の減等があったことによるものです。

＜収益的支出＞

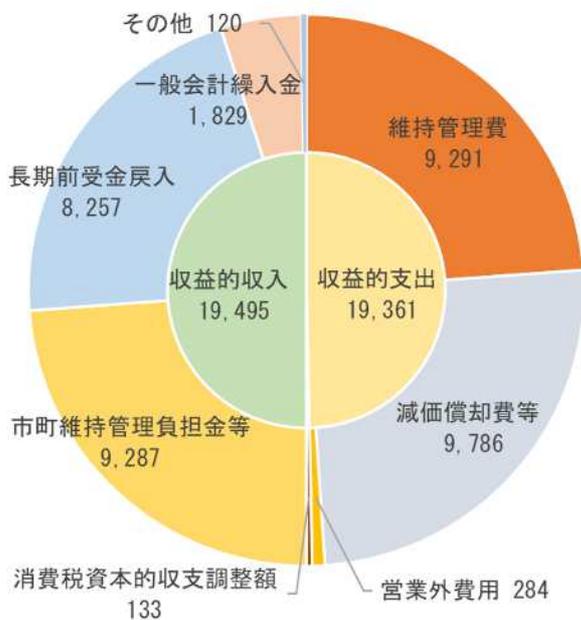
営業費用は、24,297百万円で前年度に比べ、346百万円増加しています。これは減価償却費等1,214百万円の減があったものの、電気料金の上昇等による維持管理費1,560百万円の増があったことによるものです。

営業外費用は、373百万円で前年度に比べ、88百万円減少しています。これは支払利息の減等があったことによるものです。

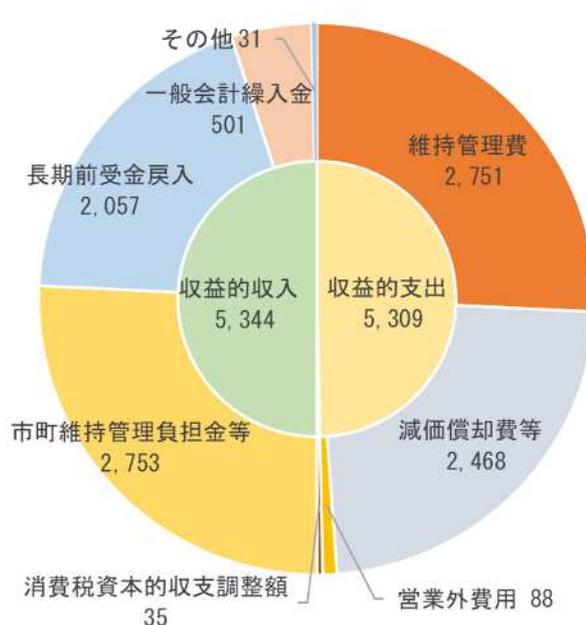
令和4年度決算額（全体）（単位：百万円 以下同じ）



令和4年度決算額（相模川流域）



令和4年度決算額（酒匂川流域）



②資本的収支

(単位：百万円)

科目等	令和4年度決算額(A)			令和3年度決算額(B)			増減(A-B)		
	全体	相模川 流域	酒匂川 流域	全体	相模川 流域	酒匂川 流域	全体	相模川 流域	酒匂川 流域
資本的収入 d	5,777	4,099	1,678	5,746	3,719	2,026	31	380	△ 348
(うち当年度財源)	(4,433)	(3,576)	(856)	(4,321)	(2,730)	(1,591)	112	846	△ 735
(うち翌年度繰越財源) e	(1,344)	(522)	(821)	(1,424)	(988)	(435)	△ 80	△ 466	386
企業債	1,067	765	302	946	585	361	121	180	△ 59
(うち当年度財源)	(1,046)	(765)	(281)	(946)	(585)	(361)	100	180	△ 80
(うち翌年度繰越財源)	(21)	(0)	(21)	(0)	(0)	(0)	21	0	21
国庫補助金	2,822	2,135	686	3,113	2,126	986	△ 291	9	△ 300
(うち当年度財源)	(2,293)	(1,949)	(344)	(2,438)	(1,649)	(789)	△ 145	300	△ 445
(うち翌年度繰越財源)	(528)	(186)	(342)	(674)	(476)	(197)	△ 146	△ 290	145
一般会計繰入金	797	628	169	507	246	261	290	382	△ 92
(うち当年度財源)	(773)	(607)	(166)	(497)	(237)	(260)	276	370	△ 94
(うち翌年度繰越財源)	(24)	(20)	(3)	(9)	(8)	(1)	15	12	2
市町建設負担金等	1,090	570	520	1,179	761	417	△ 89	△ 191	103
(うち当年度財源)	(320)	(255)	(65)	(438)	(258)	(180)	△ 118	△ 3	△ 115
(うち翌年度繰越財源)	(770)	(315)	(454)	(740)	(503)	(237)	30	△ 188	217
資本的支出 f	7,835	6,139	1,696	8,420	5,791	2,628	△ 585	348	△ 932
建設改良費	5,591	4,375	1,215	6,071	3,965	2,105	△ 480	410	△ 890
企業債償還金	2,244	1,764	480	2,348	1,825	522	△ 104	△ 61	△ 42
資本的収支財源過不足額 d-e-f	△ 3,402	△ 2,563	△ 839	△ 4,099	△ 3,061	△ 1,037	697	498	198
資本的収支不足額の補填財源	3,402	2,563	839	4,099	3,061	1,037	△ 697	△ 498	△ 198

<資本的収入>

企業債は、1,067百万円で前年度に比べ、121百万円増加、国庫補助金は、2,822百万円で前年度に比べ、291百万円減少しています。

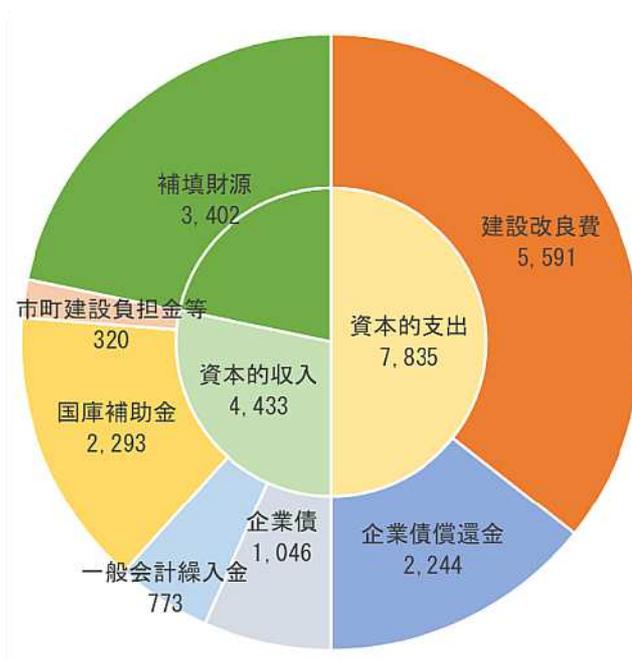
一般会計繰入金は、797百万円で前年度に比べ、290百万円増加、市町建設負担金等は1,090百万円で前年度に比べ、89百万円減少しています。

<資本的支出>

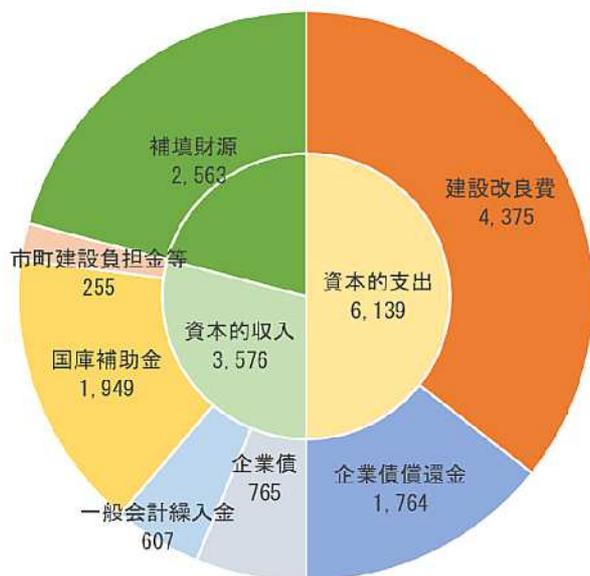
建設改良費は、5,591百万円で前年度に比べ、480百万円減少しています。

なお、翌年度繰越財源1,344百万円を除いた、資本的収入の総額は4,433百万円であり、これに対して資本的支出の総額は7,835百万円です。この不足額3,402百万円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、当年度分損益勘定留保資金及び繰越工事資金により補填しています。

令和4年度決算額（全体）（単位：百万円 以下同じ）



令和4年度決算額（相模川流域）



令和4年度決算額（酒匂川流域）



※円グラフで示している資本的収入の額は、令和4年度の資本的支出に対する財源（令和4年度決算額から翌年度繰越額に係る財源充当額を差し引いたもの）。

(3) 主要施策別の決算額

(単位：百万円)

経営ビジョンの主要施策		令和4年度決算額		
		全体	相模川流域	酒匂川流域
1 効果的な 老朽化対策	(1) 改築更新の重点化	3,504	3,103	400
	(2) 適切な予防保全と維持管理の効率化			
	(3) 汚泥の集約処理			
2 災害対策の 強化	(1) 施設の耐震化	497	333	164
	(2) 施設の耐水化			
	(3) 下水処理場のネットワーク化			
	(4) 危機管理体制の強化			
3 環境保全の 推進	(1) 水環境の保全	1,040	517	522
	(2) 地球温暖化への対応			
合計		5,041	3,954	1,087

【改築更新の重点化】 老朽化した電気設備の改築例 (柳島水再生センター)
(改築前) (改築後)



【地球温暖化への対応】 高効率の散気装置を導入 (四之宮水再生センター)
(改築前) (改築後)



2 経営状況を確認するための主な指標(流域下水道)

(1) 汚水処理原価【汚水処理費用(公費負担分を除く)/年間有収水量】

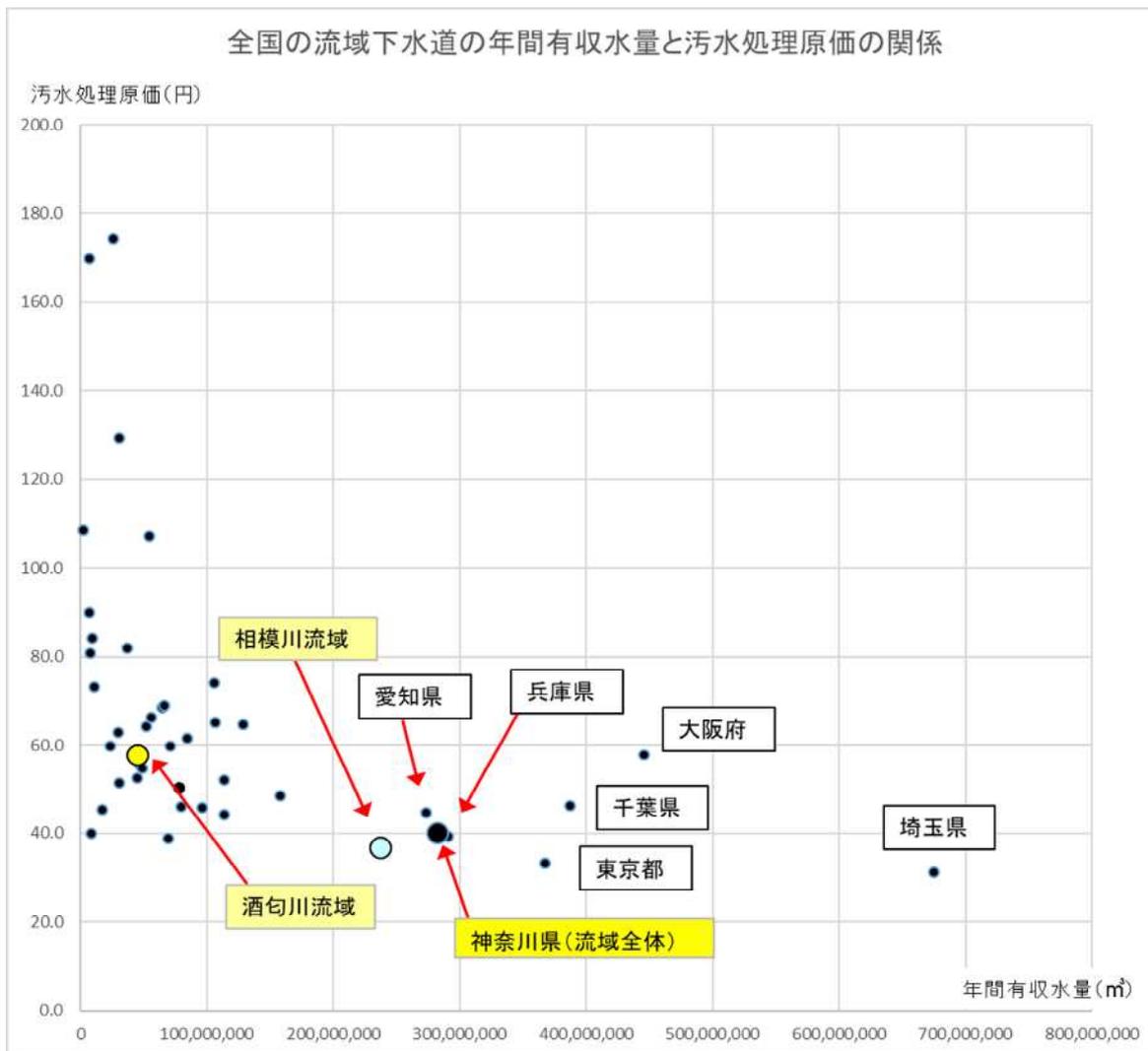
流入下水量 1 m³当たりの汚水処理に要した費用を表すもので、維持管理の効率性が確認でき、低い方が望ましい。
(単位：円<税抜き>)

神奈川県			全国平均値			他都府県 (R3決算)						
全体	R4決算		全体	R3決算		(R3決算)	埼玉県	千葉県	東京都	愛知県	大阪府	兵庫県
	相模川流域	酒匂川流域		相模川流域	酒匂川流域							
40.05	36.73	57.59	33.81	30.42	51.67	48.89	31.14	46.23	33.10	44.66	57.85	39.15

【指標から分かること】

- 電気料金の値上がり等の影響で昨年度より高い値となっていますが、全体として比較的低い値となっており、今後も維持管理の効率化を進めていく必要があります。
なお、酒匂川流域が相模川流域よりも高い値となっているのは、スケールメリットの差によるものと考えられます。

- (参考) ・ 下記グラフのとおり、規模が大きい(年間有収水量が多い)ほど、汚水処理原価は低くなる傾向があります。
- 他都府県の値は複数の流域の合計です。



(2) 自己資本構成比率【(資本合計+長期前受金) / 負債資本合計 × 100】

処理場設備等の資産取得を企業債等の負債以外の財源でどの程度賄っているかを表すもので、比率が高いほど、経営の健全性は高いといえます。(単位：%)

神奈川県						全国平均値	他都府県 (R3決算)					
全体	R4決算		全体	R3決算		(R3決算)	埼玉県	千葉県	東京都	愛知県	大阪府	兵庫県
	相模川流域	酒匂川流域		相模川流域	酒匂川流域							
85.58	84.34	88.68	85.89	85.39	87.16	82.73	81.48	85.27	91.63	75.48	82.44	77.63

【指標から分かること】

- ・ 流域下水道事業で比較すると、国庫補助や起債の条件が同じである点で、他都府県と大きく変わらないものと考えられますが、全国平均値を若干上回っており、経営の健全性は比較的高いといえます。

(3) 有形固定資産減価償却率

【有形固定資産減価償却累計額 / 有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価 × 100】

処理場設備等の減価償却がどの程度進んでいるかを表すもので、数値が高いほど、設備等の老朽化が進んでいます。(単位：%)

神奈川県 [R2]						全国平均値	他都府県 (R3決算)					
全体	R4決算		全体	R3決算		(R3決算)	埼玉県 [H22]	千葉県 [R2]	東京都 [S43]	愛知県 [R1]	大阪府 [H30]	兵庫県 [H30]
	相模川流域	酒匂川流域		相模川流域	酒匂川流域							
18.56	19.21	16.27	12.99	13.58	10.92	33.95	41.39	8.24	52.81	11.19	60.89	19.83

※ 都府県名の下のカッコ[]は、公営企業会計に移行した年度です。

【指標から分かること】

- ・ 有形固定資産減価償却率は、法適用企業でないと算出できないため、基本的に公営企業会計移行後の数値となっており、他自治体との単純な比較はできませんが、総務省の経営比較分析表に基づき整理すると上記の数値となります。

なお、令和2年度に公営企業会計に移行した本県の数値は上記のとおりですが、公営企業会計移行前の減価償却を考慮して推計すると下記(参考)の数値となります。

移行年度の近い他都府県との比較や、公営企業会計移行前の減価償却を考慮した値を見ると、本県の資産は老朽化がやや進んでいると考えられ、今後、財政状態の健全性を確保しながら、計画的に改築事業を進めていく必要があります。

(参考)

神奈川県					
全体	R4決算		全体	R3決算	
	相模川流域	酒匂川流域		相模川流域	酒匂川流域
68.44	68.88	66.85	66.70	67.23	64.82

※ 出典：表及びグラフの他都府県の値並びに全国平均の値は、令和3年度地方公営企業決算状況調査表及び経営比較分析表(総務省)によるものです。

【参考】決算と経営ビジョンの比較

経営ビジョンでは、主要施策の実施に係る事業費の算出や汚水量の推計等を行い、公営企業会計の区分による10年間の流域下水道事業の収支の見通しを示していますが、決算額との比較は次のとおりです。

(1) 流域下水道事業全体

(単位：百万円)

科目等		令和4年度 決算額 流域合計(A)	令和4年度 経営ビジョン 流域合計(B)	増減 A-B
収 益 的 収 支	収益的収入 a	24,840	25,014	△ 174
	営業収益	12,041	12,328	△ 287
	市町維持管理負担金等	12,041	12,328	△ 287
	営業外収益等	12,798	12,686	112
	長期前受金戻入	10,314	10,319	△ 5
	一般会計繰入金	2,331	2,361	△ 30
	その他	152	6	146
	収益的支出 b	24,670	25,014	△ 344
	営業費用	24,297	24,640	△ 343
	維持管理費	12,042	12,340	△ 298
減価償却費等	12,254	12,300	△ 46	
営業外費用	373	374	△ 1	
消費税資本的収支調整額 c	169	-	169	
当年度純利益又は純損失 a-b-c	0	0	0	
資 本 的 収 支	資本的収入 d	5,777	6,743	△ 966
	(うち当年度財源)	(4,433)	-	-
	(うち翌年度繰越財源) e	(1,344)	-	-
	企業債	1,067	1,232	△ 165
	国庫補助金	2,822	3,406	△ 584
	一般会計繰入金	797	855	△ 58
	市町建設負担金等	1,090	1,250	△ 160
	資本的支出 f	7,835	8,724	△ 889
	建設改良費	5,591	6,515	△ 924
	企業債償還金	2,244	2,209	35
資本的収支財源過不足額 d-e-f	△ 3,402	△ 1,981	△ 1,421	
資本的収支不足額の補填財源	3,402	1,981	1,421	

(2) 相模川流域下水道事業

(単位：百万円)

科目等		令和4年度 決算額 相模川流域(A)	令和4年度 経営ビジョン 相模川流域(B)	増減 A-B
収 益 的 収 入	収益的収入 a	19,495	19,507	△ 12
	営業収益	9,287	9,404	△ 117
	市町維持管理負担金等	9,287	9,404	△ 117
	営業外収益等	10,207	10,103	104
	長期前受金戻入	8,257	8,248	9
	一般会計繰入金	1,829	1,852	△ 23
	その他	120	3	117
	収益的支出 b	19,361	19,507	△ 146
	営業費用	19,077	19,216	△ 139
	維持管理費	9,291	9,408	△ 117
減価償却費等	9,786	9,807	△ 21	
営業外費用	284	292	△ 8	
消費税資本の収支調整額 c	133	-	133	
当年度純利益又は純損失 a-b-c	0	0	0	
資 本 的 収 入	資本的収入 d	4,099	4,078	21
	(うち当年度財源)	(3,576)	-	-
	(うち翌年度繰越財源) e	(522)	-	-
	企業債	765	707	58
	国庫補助金	2,135	1,978	157
	一般会計繰入金	628	678	△ 50
	市町建設負担金等	570	715	△ 145
	資本的支出 f	6,139	5,637	502
	建設改良費	4,375	3,898	477
	企業債償還金	1,764	1,739	25
資本的収支財源過不足額 d-e-f	△ 2,563	△ 1,559	△ 1,004	
資本的収支不足額の補填財源	2,563	1,559	1,004	

(3) 酒匂川流域下水道事業

(単位：百万円)

科目等		令和4年度 決算額 酒匂川流域(A)	令和4年度 経営ビジョン 酒匂川流域(B)	増減 A-B
収 益 的 収 入	収益的収入 a	5,344	5,507	△ 163
	営業収益	2,753	2,924	△ 171
	市町維持管理負担金等	2,753	2,924	△ 171
	営業外収益等	2,590	2,583	7
	長期前受金戻入	2,057	2,071	△ 14
	一般会計繰入金	501	509	△ 8
	その他	31	3	28
	収益的支出 b	5,309	5,507	△ 198
	営業費用	5,220	5,424	△ 204
	維持管理費	2,751	2,931	△ 180
減価償却費等	2,468	2,493	△ 25	
営業外費用	88	83	5	
消費税資本の収支調整額 c	35	-	35	
当年度純利益又は純損失 a-b-c	0	0	0	
資 本 的 収 入	資本的収入 d	1,678	2,665	△ 987
	(うち当年度財源)	(856)	-	-
	(うち翌年度繰越財源) e	(821)	-	-
	企業債	302	525	△ 223
	国庫補助金	686	1,428	△ 742
	一般会計繰入金	169	177	△ 8
	市町建設負担金等	520	535	△ 15
	資本的支出 f	1,696	3,087	△ 1,391
建設改良費	1,215	2,617	△ 1,402	
企業債償還金	480	470	10	
資本的収支財源過不足額 d-e-f	△ 839	△ 422	△ 417	
資本的収支不足額の補填財源	839	422	417	